



行谷小学校 学校だより

日本一のトキの学校

トキっ子

第7号 [11月号]

令和2年11月18日発行



シリーズ「新型コロナウイルスに負けるな！」

チョコちゃんに叱られる! = ボーっとしない生き方 =



読書の秋です。

11月の全校朝会で、学校の図書室にある本【左写真】を紹介しました。



人と別れるとき、なぜ手を振る？／なぜお線香をあげる？／乾杯のカチンってなに？／セピア色の「セピア」ってなに？／ポン酢の「ポン」ってなに？／クッキーとビスケットは、どう違う？／なぜ「男」と「女」がいる？／なぜパンダは白黒？／なぜ寝るときに枕を使う？／ショートケーキって、どれ？／桜が同じタイミングで咲くのは、なぜ？／右利きの人が多いのは、なぜ？／ドレミの「ド」ってなんの「ド」？／なぜ泥棒は唐草文様の風呂敷？／森のニオイって、なんの匂い？／なぜクジラは大きい？／どうして北海道だけ「道」？

『チョコちゃんに叱られる』小学館(2019)目次より

『チョコちゃんに叱られる!』は、NHKで放送されているクイズ番組です。5歳の女兒チョコちゃんが出す問題にゲストが答え、間違うと「ボーっと生きてんじゃねーよ」と叱られます。このフレーズは、2018年の流行語大賞トップテンにも入りました。今やNHKの看板番組の一つです。

クイズ番組が多い中、なぜこの番組がこれほどの人気を集めているのでしょうか。それは、番組の構成はもちろん、取り上げるテーマが日常の素朴な疑問だからでしょう。

全校朝会では、2020年3月13日に放送された「柿の種の謎！柿の種は、なぜ、こんな形になったのか？」というテーマを取り上げました。

まず、「柿の種が好きな人。」と尋ねると、多くの子が手を挙げました。

「きのう食べたよ…」という子もいました。

柿の種は私も大好きで、小腹が空いた時など、つつい食べてしまいます。

次に、「なぜ、こんな形になったのでしょうか。」と尋ねると、番組を見たという4年生の子の手が挙がりました。

「誰かが踏んづけた…」

「踏んづけた…って、どういうこと…??」

(この詳細は、浪花屋製菓の「元祖 柿の種」【右写真】のパッケージ裏面に記載されています。)



人間は「考える葦」「意味を求める動物」などと言われます。幼い子は、早い子は2歳くらいから、見るものや触るものに対して「なんで?」「どうして?」と言います。私たち人間は、「なぜ?」を解き明かすことで、物事を深く理解しようとしています。文系・理系を問わず、あらゆる学問は、「なぜ?」を問うところから始まります。

「柿の種は、なぜ、こんな形になったのか?」という問いは、「既知の情報の中の未知に気付かせる」問いです。

「こんな形なのは、奥さんのうっかり…だったんだ!」「100年近く作り続けているなんてすごい!」「どうやって作っているのだろう?」「ピーナッツが入っているのはなぜ?いつから?」「そもそもあの形って、柿の[種]に似てないんじゃない…?」

すでに知っている情報に新しい情報がつながると、それは新しい「知識」となり、また、新しい「なぜ?」が生み出されます。

学校では読書旬間が始まっています。物語や小説だけでなく、知識を増やしたり、疑問に思ったことを調べたりする読書もおすすです。

「ボーっとしない生き方」を子どもたちに期待します。

(校長 笠井 猛雄)